

静岡市立清水病院経営計画の進捗状況

第3章 清水病院の目指す姿と役割・機能

4 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標の設定(「静岡市立清水病院経営計画」 P.19)

目標値に対し実績が「115%以上:S」、「95%以上115%未満:A」、「75%以上95%未満:B」、「75%未満:C」

No.	指標等	R8計画	R5実績	内部評価	達成率	現状・課題	対応	外部評価	コメント
1	救急応需率	96.0%	85.8%	B	89.4%	病床制限により満床で受けられない日が増加。看護師確保などによる稼働病床の増が課題となっている。	不応需分析、看護師確保へ取り組みつつ実態に応じた計画値に変更する。	B	
2	手術件数	3,600件	3,224件	B	89.6%	外来・入院患者数ともに減少傾向であることに伴い、手術件数も伸び悩んでいる。	病診連携強化などにより手術を必要とする患者の確保に取り組む。	B	
3	分娩件数	250件	141件	C	56.4%	全市の出生数が減少する中、当院での分娩件数の計画値達成は難しいと考える。	実態に応じて変更する。	C	計画値に無理があるのであれば、必要に応じて修正を検討されたい。
4	リハビリ件数	104,000件	102,460件	A	98.5%	R4の92,200件から順調に増加しており、R8計画値達成を目指す。	-	A	
5	外来化学療法延患者数	1,500件	1,488件	A	99.2%	R8計画値の達成に向けて取り組んでいく。	-	A	
6	患者満足度	入院 4.3以上 外来 4.2以上	入院 4.46 外来 4.33	A	103.7%	計画値を超えた満足度を維持することが課題である。引き続き、高い満足度を維持できるように医療サービスの充実に努める。	-	A	
7	在宅復帰率(一般)	90.0%	95.6%	A	106.2%	R8計画値を達成しており維持していく。	-	A	
8	在宅復帰率(回リハ)	90.0%	95.2%	A	105.8%	R8計画値を達成しており維持していく。	-	A	
9	クリニカルパス適用率	27.0%以上	25.74%	A	95.3%	R8計画値の達成に向けて取り組んでいく。	-	A	
10	紹介率	68.0%	73.9%	A	108.7%	R8計画値を達成しており維持していく。	-	A	
11	逆紹介率	108.0%	108.8%	A	100.7%	R8計画値を達成しており維持していく。	-	A	
12	診療所連携受入件数	8,200件	7,899件	A	96.3%	R8計画値の達成に向けて取り組んでいく。	-	A	
13	施設連携受入件数	240件	273件	A	113.8%	R8計画値を達成しており維持していく。	-	A	
14	臨床研修医の受入人数	10人	11人	A	110.0%	受入は医師の確保につながるため、引き続き計画どおり受け入れていく必要がある。	-	A	
15	看護実習受入件数	135人	117人	B	86.7%	受入は看護師の確保につながるため、計画どおり受け入れていく必要がある。	看護学校への訪問、積極的な広報活動の実施等により、受入件数の増加を目指す。	B	看護を目指す学生数が減少しているものの、創意工夫して積極的に取り組まされたい。
16	医療相談件数	15,000人	18,631件	S	124.2%	R8計画値を達成しており維持していく。	-	S	
17	DMAT出動可能チーム	2チーム	2チーム	A	100.0%	R8計画値を維持している。	-	A	
18	市民公開講座	3回	1回	C	33.3%	コロナウイルス感染症の影響により近年は開催が難しかったが、現時点でその問題は解消している。	R6は2回開催を予定しており、さらなる回数増を図っていく。	C	

第4章 経営の効率化※R5計画との比較

1 経営指標に係る数値目標の設定(「静岡県立清水病院経営計画」 P.22、23)

目標値に対し実績が「115%以上:S」、「95%以上115%未満:A」、「75%以上95%未満:B」、「75%未満:C」

No.	指標等	R5計画	R5実績	内部評価	達成率	現状・課題	対応	外部評価	コメント
19	経常収支比率	100.0%	100.3%	A	100.3%	一般会計補助金を入れることで計画値どおりとなっている。	-	A	
20	医業収支比率	84.9%	80.6%	B	94.9%	病床制限により入院収益が目標未達。看護師確保などによる病床の増が課題となっている。	看護師の新規採用強化や離職防止のための看護業務改善を進め、看護師確保を図る。また、平均在院日数の適正化等による単価増のための診療報酬制度の理解を促進する。	B	人手不足は業界問わず大きな課題となっていることから、働く人の満足度や不満度を確認し、従業員エンゲージメントを意識して取り組まねたい。また、新たな診療報酬体系に即した診療体制等を検討されたい。
21	修正医業収支比率	79.7%	75.3%	B	94.5%			B	
22	資金不足比率	0.0%	0.0%	-	-	-	-	-	
23	累積欠損金比率	6.1%	0.8%	S	762.5%	計画値を大幅に達成。	-	S	
24	一日当たり入院患者数	347人	323人	B	93.1%	病床制限により入院収益が目標未達。看護師確保などによる病床の増が課題となっている。	看護師の新規採用強化や離職防止のための看護業務改善を進め、看護師確保を図る。	B	人手不足は業界問わず大きな課題となっていることから、働く人の満足度や不満度を確認し、従業員エンゲージメントを意識して取り組まねたい。
25	一日当たり外来患者数	710人	677人	A	95.4%	目標未達の一因として、特別初診の影響も考えられる。	病診連携強化などにより紹介状を持つ新規患者の確保に取り組む。	A	
26	入院単価	57,571円	57,431円	A	99.8%	平均在院日数の増加が入院単価の減につながっており、診療報酬制度への理解の促進と入院期間の管理を徹底する必要がある。	診療報酬制度の理解促進のための取組を行う。	A	
27	外来単価	13,481円	14,356円	A	106.5%	R5計画値を達成しており、R6以降計画値の達成に向け取り組んでいく。	-	A	
28	医師一人当たり診療収入	338,292円	319,920円	B	94.6%	診療行為を漏れなくカルテに記載し、診療報酬の請求に漏れないようにする必要がある。	診療報酬制度の理解促進のための取組を行う。	B	新たな診療報酬体系に即した診療体制等を検討されたい。
29	看護師一人当たり診療収入	60,894円	62,166円	A	102.1%	看護師数が計画値を下回っているため、一人当たり収入実績が計画値を超えていると考えられる。	-	A	
30	病床利用率	74.9%	69.7%	B	93.1%	病床制限により満床で受けられない日が増加。看護師確保などによる稼働病床の増が課題となっている。	看護師の新規採用強化や離職防止のための看護業務改善を進め、看護師確保を図る。	B	人手不足は業界問わず大きな課題となっていることから、働く人の満足度や不満度を確認し、従業員エンゲージメントを意識して取り組まねたい。
31	平均在院日数	13.8日	14.9日	B	92.6%	平均在院日数の増加が入院単価の減につながっており、診療報酬制度への理解の促進と入院期間の管理を徹底する必要がある。	診療報酬制度の理解促進のための取組を行う。	B	新たな診療報酬体系に即した診療体制等を検討されたい。
32	DPC機能評価係数	0.0964	0.10246	A	106.3%	診療報酬改定により検討が必要である。	-	A	
33	対修正医業収支比率【材料費】	22.7%	23.8%	A	95.4%	物価高騰及び看護師不足に伴う稼働病床減による入院収益減により比率が上昇している。		A	
34	対修正医業収支比率【薬品費】	12.3%	13.0%	B	94.6%	看護師不足に伴う稼働病床減による入院収益減により比率が上昇している。		B	
35	対修正医業収支比率【委託費】	14.9%	15.6%	A	95.5%	看護師不足に伴う稼働病床減による入院収益減により比率が上昇している。	計画値に達していない主な原因は収益の減であることから、看護師確保を図ることで稼働病床の増、入院収益の増につなげる。	A	人手不足は業界問わず大きな課題となっていることから、働く人の満足度や不満度を確認し、従業員エンゲージメントを意識して取り組まねたい。また、新たな診療報酬体系に即した診療体制等を検討されたい。
36	対修正医業収支比率【職員給与費】	65.9%	70.1%	B	94.0%	人事委員会勧告及び看護師不足に伴う稼働病床減による入院収益減により比率が上昇している。		B	
37	対修正医業収支比率【減価償却費】	8.7%	9.1%	A	95.6%	看護師不足に伴う稼働病床減による入院収益減により比率が上昇している。		A	
38	100床当たりの職員数【医師数】	17.7人	16.8人	B	94.9%	収入確保と適切な医療の提供のため、既設の診療科以外の診療科を含め、医師を確保する必要がある。	-	B	
39	100床当たりの職員数【看護師数】	98.9人	91.4人	B	92.4%	必要な病床の稼働による収入確保、適切な医療の提供のため、看護師の確保は喫緊の課題である。	看護師確保のための職場環境の改善、採用の強化に関する取組を追加する。	B	人手不足は業界問わず大きな課題となっていることから、働く人の満足度や不満度を確認し、従業員エンゲージメントを意識して取り組まねたい。
40	100床当たりの職員数【医療技術員数】	20.3人	19.9人	A	98.0%	適切な医療の提供のため、その他医療従事者を確保する必要がある。	-	A	
41	100床当たりの職員数【事務職員数】	23.3人	22.7人	A	97.4%	病院運営や経営改善のため、事務職員の数・質の強化が必要である。	-	A	
42	医業材料費の削減目標	18,774千円	△90,593千円	C	-	物価高騰及び看護師不足に伴う稼働病床減による入院収益減により比率が上昇している。	稼働病床の増、入院収益の増に加え、物価高騰を踏まえた見込みに修正する。	C	
43	後発医薬品の使用割合	20%以上	53.4%	S	267.0%	後発品の使用については、薬事委員会を中心に後発品への切り替えを推進し後発品の使用割合が大きく向上した。	-	S	
44	医師数	68人	66人	A	97.1%	収入確保と適切な医療の提供のため、既設の診療科以外の診療科を含め、医師を確保する必要がある。	-	A	
45	看護師数	384人	356人	B	92.7%	必要な病床の稼働による収入確保、適切な医療の提供のため、看護師の確保は喫緊の課題である。	看護師確保のための職場環境の改善、採用の強化に関する取組を追加する。	B	人手不足は業界問わず大きな課題となっていることから、働く人の満足度や不満度を確認し、従業員エンゲージメントを意識して取り組まねたい。
46	その他医療従事者数	139人	131人	B	94.2%	適切な医療の提供のため、その他医療従事者を確保する必要がある。	-	B	
47	事務職員数	36人	36人	A	100.0%	病院運営や経営改善のため、事務職員の数・質の強化が必要である。	-	A	
48	資本額	5,772,954千円	6,312,924千円	A	109.4%	-	-	A	
49	現金保有残高	2,202,600千円	2,169,377千円	A	98.5%	-	-	A	
50	企業債残高	2,932,601千円	2,363,361千円	B	80.6%	-	-	B	

3 経営強化プラン対象期間中の各年度の収支計画等(「静岡市立清水病院経営計画」 P.26、27)

ア 収益的収入(単位:百万円)

目標値に対し実績が115%以上:S、「95%以上115%未満:A」、「75%以上95%未満:B」、「75%未満:C」

No.	指標等	R5計画	R5実績	内部評価	達成率	現状・課題	対応	外部評価	コメント
51	医薬収益	10,590	10,029	B	94.7%	-	-	B	
52	入院収益	7,304	6,778	B	92.8%	看護師数の減少に伴う稼働病床減により入院収益が予算を下回った。	看護師確保による病床増に取り組む。平均在院日数の適正化等による単価増のため診療報酬制度の理解を促進する。	B	人手不足は業界問わず大きな課題となっていることから、働く人の満足度や不満足を確認し、従業員エンゲージメントを意識して取り組まねたい。
53	外来収益	2,326	2,360	A	101.5%	外来患者数が減少したものの、単価増によりR5計画値を達成した。	-	A	
54	他会計負担金	658	660	-	-	-	-	-	
55	その他収益	301	230	B	76.4%	-	-	B	
56	医薬外収益	2,215	2,846	S	128.5%	-	-	S	
57	他会計負担金	1,182	1,182	-	-	計画どおり。	-	-	
58	他会計補助金	894	1,299	C	-	看護師数の減少に伴う稼働病床減による収益減や、物価高騰による支出増等により計画値を大きく超える金額での要求となった。	-	C	改善に向け、当院の現状に対するモデルケースとなり得る病院と比較分析されたい。
59	その他収益	140	365	S	260.7%	-	-	S	
60	収益的収入計	12,805	12,875	A	100.5%	-	-	A	

イ 収益的支出(単位:百万円)

No.	指標等	R5計画	R5実績	内部評価	達成率	現状・課題	対応	外部評価	コメント
61	医薬費用	12,468	12,442	A	100.2%	-	-	A	
62	給与費	6,540	6,571	A	99.5%	看護師数は減少したが、人事委員会勧告によりR5計画値に達しなかった。	-	A	
63	材料費	2,251	2,232	A	100.9%	物価高騰の影響はあったものの、手術件数減等によりR5計画値を達成した。	-	A	
64	経費	2,743	2,735	A	100.3%	-	-	A	
65	減価償却費等	864	855	A	101.1%	-	-	A	
66	その他	69	49	S	140.8%	-	-	S	
67	医薬外費用	336	394	B	85.3%	-	-	B	
68	支払利息	39	28	S	139.3%	-	-	S	
69	その他	297	366	B	81.1%	-	-	B	
70	収益的支出計	12,805	12,836	A	99.8%	-	-	A	
71	経常収支	0	39	-	-	-	-	-	

ウ 資本的収入(税込)(単位:百万円)

No.	指標等	R5計画	R5実績	内部評価	達成率	現状・課題	対応	外部評価	コメント
72	企業債	699	112	-	-	-	-	-	
73	出資金	36	31	-	-	-	-	-	
74	その他	10	29	-	-	-	-	-	
75	資本的収入計 A	745	172	-	-	-	-	-	

エ 資本的支出(税込)(単位:百万円)

No.	指標等	R5計画	R5実績	内部評価	達成率	現状・課題	対応	外部評価	コメント
76	建設改良費	1,094	759	-	-			-	
77	建物建設費	209	197	-	-			-	
78	固定資産購入費等	885	562	-	-			-	
79	貸付金	62	56	-	-	支出額を抑えつつ、必要な事業を実施することができた。(なお、「その他」については有価証券の購入による利息獲得を目標としていたが、金利状況を鑑み執行を見送った。)	-	-	
80	企業債償還金	610	567	-	-			-	
81	その他	700	1	-	-			-	
82	資本的支出 B	2,466	1,383	-	-			-	
83	差引額(A-B) (単位:百万円)	Δ1,721	Δ1,211	S	142.1%	計画値を大きく下回っている。	-	S	
84	企業債残高(単位:百万円)	2,933	2,363	S	124.1%	計画値を大きく下回っている。	-	S	